11

日一十二:

旅順 皇后陛下には行啓あらせられず 國皇帝陛下 御避寒遊さる

御都合により皇后陛下には御いせられる伽豫定であつたが、いせられる伽豫定であつたが、いばいのは、「は皇后陛下」 上めとなつたので、御軍獨 務總理以下各國務大臣、各参都合により皇后陛下には御 は皇妹二格姫を始め睾り郡國門件にて謝順へ行率啓あら 略式鹵簿にて宮廷を御出門遊嗣件にて謝順へ行率啓あら 略式鹵簿にて宮廷を御出門遊嗣の降には皇后陛下 員を隨へられ、午前七時十分

奏裡に御機嫌魔はしく新春

うら」かな風光を愛でさせら

府時樂部の奏する滿洲國歌牧

て國家の為に善魔される事 通り奉國一致の支援を求め

し不信任業等は出さぬ模様で 安護總裁が二回も同田首相の

大麻幹事長開會の挨拶に次で職員地方議員第三千餘名川席

行ひ、櫻内幸

【東京調通】國民同盟は骸正

不信任案不提出

とて同田首相を激励した 【東京國通】岡田首相は廿 首相葉山へ伺候

しこれに對し、富田率次郎氏手に迎へられて就任挨拶をな

た後、町田總裁は満場の

のと観られる

結局不解散か 一七議會

一民(国内) されることにな で、政府 がに各政黨は機綱に對議會の 準備を整へ数層は一段の緊張 の 必須を渡らせて居る、即ち 民政黨は廿日政友國國兩黨は 廿一日夫々黨大會を開催して る論歌が 「東京関連」第六十七議會も 「東京関連」第六十七議會も 「東京関連」第六十七議會も 「東京関連」第六十七議會も 「大政府に於ては臨時議會以 「大政府に於ては臨時議會以 熾烈な論戦は豫想

を 方数友會も其内部事情は複雑 として居り、他は 限り波瀾を到避して雰囲一致 工作に大量となり、出来得る は 限り波瀾を到避して雰囲一致 要議案の無事成立を企及し三 が明年度兼算案を始め各種裏

を潜ひ引鞭き大會に移り宣言と挨拶を述べ大で若視前縄裁 外東大時間に奔跑したい 新穂栽の指導の下に関家内 では今後は攀第一両町田

正面衝突を見るべしとも限ら ・禁間題に就ては相常の波瀾 の如き事前に強想されて居るが、斯 が優が整想されて居るが、斯 の加き事前に強想される諸間 散回避の要望が強く、從つて錯綜を極め、大勢としては解 今無會に於ては人權蹂躪問題

している町田總裁就任挨拶左の知います。 るに至つた、内外時間多端 御推敷を受け總裁に就任す を記述のでする諸君の の際其任

致す次第であります。

られた事は我黨の蹂躪家群任

△散務調查會委 永井柳太郎

て云った。

と、観子のはらへ振りかへつ

観座の機関の敵を掛いてゐる

方き書の案答

き、競の丹

0

左

三、宣傳のエ

0

ゼ

さて

なんてせう

· 作

大〇內

でもするやうに立上つたのだつ

「いった」

35

2000

影子は、機能らず 一覧は

難問頭が器 異常な心理作用から突破的に ぶ、今職會の 導くことが 推移 生し最悪の事態に 無いとは云へない

> 里の洋上に突ぶ岩礁の群島ではハワイ和系の キングマンリーフ群島が散

危機に逢着しながらも結婚解 散無しに無事終了すると云ふ に對する一般政 ハワイ、グア

居る模様である 事實上は無人島同然の島嶼で 洋上の飛石を形成するもので の酸膜乃至酸略軍事 ゲアム、フイリッ 一切ち 之等の島標

左の如く語つ ジョンストン

在平支那側機關

高橋武官關東軍聲明手

ヤングマンリ

んど居住者無く從つて何等

吉田醫院

荒木氏夫妻の

封寄附

內科·X光線科 小兒科·物療科 吉田秀雄 大連へ 本国ロ十助氏(門上報道部末 長)阿上 二十日午後五時三十分着大 連から大和ホテル投宿 連から大和ホテル投宿 上来天から 上来天から 一二十日午後五時三十分着大 連から大和ホテル投宿 上来天から 一二十日年後一時三十分着 下から大和ホテル投宿 一二十日年後十時三十分着率 下から大和ホテル投宿 中宋維氏(満蘇社典)同

けてどぎまぎしながら、

野子は、野田のの競技をう どおくれて

MAL.

あたくし、何もわかりません

なをまて

内に駐屯の宋香元勝濫に闘す

京賞局に大観動を興へ、折柄

金一封を要

|体聯盟並に國防婦人

武田新所長

廿三日來着

総町東一條角

(公學堂前)

解長は各方面の

宋哲元狼狽

何應欽に指示を仰ぐ

武官は十九日午後の軍事委員(北平廿日駿國通)高橋駐平

會並に政務整理委員會に對し

・ 本あり、仄聞するに會議は宋 ・ 本の政府首脳部を中央軍官 ・ 本工精衛氏、黄っ氏以下十七 ・ 大名の政府首脳部を中央軍官 ・ 本工精衛氏、黄っ氏以下十七 ・ 大名の政府首脳部を中央軍官

南京政府から

急遽撤退方嚴命か

哲元に急遽撤退を戦命する

は今回特任に際し青年同志曾

また同夫人から新

首相、齋藤前首相訪問

對議會策懇談

施政方針演説草案も内奏

齋藤氏から激勵

態度を

直に撤兵

高橋武官へ通報

「北平廿一日発展通」北平武 ・ 大日職東軍の通告に耐し大部 ・ 大日職東軍の通告に耐し大部 ・ 大田職東軍の通告に耐し大部

▲ 竹森登男氏、満級社員)二十一日午前七時 唐本天から 大利ホテル投稿 大利ホテル投稿 「日午前七時 唐本天から 大利ホテル投稿 「日午前七時三十分前率天から大利ホテル投稿 「山本豊進氏(吳庫縣會社員) 同上 だったことや、小部に、来たとればれ、東京の画館の戦く か殿院の早く連げる日に、野子 ることなどを踏して、 きから見ると、だいぶ難つてる 「さうさう、お歌が楽たられま と、称へるやうに、変えたの

★他田良夫氏(東京帽子問屋 二十日午徒五時三十分漕奉 二十日午徒五時三十分漕奉 しかし、中日といふわけにも行けて歌しいと思つてるたのちゃ さんを、芝居にでも現代してあ

だった。野子は、

るといふ

数の対性ではなかった

正月發賣新譜目

ヱンゼルレコー

からおく

れがちになってるるの

日満當局に圓滿解决方懇談 五時三十四 返したが、

校掛をすまし、

一旦赞口に引

話五九一一

りとし直に満洲國内より撤兵 る 12二十日 IF 午高橋駐平武官

動ひ、姦東の情勢を報告し今 日午前十時居仁堂に何騰飲を 日午前十時居仁堂に何騰飲を 日本前十時居仁堂に何騰飲を

米國が軍政を布く

軍事的價值重

洋上三群島に

===

東る二十三日午後 東る二十三日午後

へ 事往來

▲西山橋太郎氏(陸軍中佐) 同上 「同上 午樓至明三十分養華天

ものであるが然し政府は簡敵も行はれてゐなかつ を見込みから今回始めて 楽之等諸島の居住者が田 ス連へ 大連へ 大連へ 大連市産業 十一日午前九時音率天か

はつと戦をおけて、あたりを

あたりを見

たが、いつのまにかまた、戯野

ちなことを云つて

それには得えず、

かとうらべて

と、まるで、とつてつけたや

「京歌な」と何ですか?

都古

でも戦歩して、どこぞで継載で

くの時地してあげて戦ひ たい にかく云った兄のからちをさつ

岡 昨日擧行さる 總裁 の推蔵式 一 融會に臨む民政陣容

勢力は関り全関激員のみ対域のเ高身を挺して襲せ

た八人感激時代

最後の切れ

らず誠に天下の興端を扱つ

((株上鉄上鉄等数)) 作合

未源大物 下及精神 受養子

中谷時計店旗部

【東京園通】民政系では町田 新典裁の推敷式を乗ね第六十 七調會に臨む 前線裁其他貴業兩院叢真、評別意、町田新職裁を始め若複別意、町田新職裁を始め若複別を「中華」の職合會を行び 記するため廿日 政務調査合品 り無総務幹事長、一致を以て可決し 陛下萬蔵、民

午後一時自動車で紫山御用邸に伺候 天皇陛下に拜謁を仰付けられ、施政方針演説内容を上奏、御裁可を仰ぎ歸途薬むへ避寒中の齋藤前首相を訪り懇談、慶京した

陣容

戦器 就任挨拶 引続き 岡出席し同五時庭會裡に敵旨 別室 歳の招待會に一

我黨の爲一層の御努力あら

更に岩臓の爲

39

(ID

男の統準指導宜しきを得た

る所以は實に

頼母木氏が

んへ

あれは三枝さんへ。こつ

たのちゃそれからこれは経緯さ たのちゃそれからこれは経緯さ たのちゃそれからこれは経緯さ

「はあ」

命された役員左の通り ・ 保証の通り ・ 保証の通り

ひに幹部諸君の御凶力と常 員器材の御援助に依り此大 ちは、瀬助と、イナー

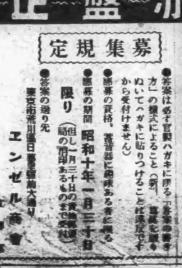
任を完ら致す様切にお願ひ 文、魏澤字八、內 富濟、田中武維。 京濟、田中武維。 京濟、田中武維。 京濟、田中武維。 京灣、田中武維。 內崎作三郎 をとお動ものでが歌らやよ。時 ・ 勝子さんにいつしよに行つ でした」 とか云はねばなられと思つたの 職をひをして来よう」 のちゃ 「さらでする。それた、大へん

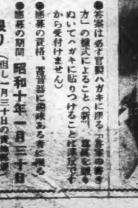
学 長) 二十日午後十時三十分 外 成 男氏 (幸天省總務庫

日午前九時二十分發通フランス名譽領事ン 一日午前入時五十

般 月

正解者には 蓋音器 ンゼル 高 音









まは、すべて父の紹みどほりに 飲の概式になってるる以上、い で行って来よう。二三時に触る するよりほかあるまいと思つたまは、すべて父の婦みどほりに では、お父さんも、如何です と、答えたが、べつに迷惑な 課 答は 答案。莫 三つです ◆左の三角の穹剣を切り切いで貼り ・が入れてあります。なんと云かレコー◆寫真の書音器の中に只今宣傳のレゴ 一大快作として映画ファンを施狂地をかった快作として映画ファンを施狂地をかった。 人公はだれと二つの答を考へて下さい

限りある人生川夏川郡江海 大假音 () 大假语 (会日本人 優姦未配一、腐を 数左の如し を取るに係る昨一中犯罪検挙

犯罪檢學數

蒙古村を訪

二代、今の微政部大臣海王につて剛族に封ぜられてから十つて剛族に封ぜられてから十

吉林憲兵

喝一、鉄砲火攤取締規則達 公文實僞造一、傷害一、物

陪軍司令官

駐哈部隊巡視

に楽しい行為であると喜ん二、三日前に知りまして破

初稻荷祭明二十二百は

とに決定したのでこれが準備 日間説町四丁目浦人料亭吉原度は離よ四月から施行するこ と協識し二十一、二、三の三院職地の卒康里妓女の檢黴樹 のため新京場衛生係では組合

赤塚校長咸激

会を送つて非常な賞讃を博し ・ 関うので市内曙町禅宗大正寺で貰つた値かな給金から二十 するので市内曙町禅宗大正寺

若干名を來月下旬大連で試験を行つた上趾員に採用する希理者は來月十日までに志願書程歷書、學樂成績書その他書類を總務部人事課へ提出すること、

平康里の檢黴を前に

先づ健康診斷

けふから三日間

田田午様六時三十分ごろ城内 北市場三十五號張敏臣方へ滿 洲國軍服を潜した二人組の張 姿が押入り帶側を抜き家人に 変が押入り帶側を抜き家人に 変が押入りである。

二人組强盗押入

去した、享年五十三 -

第一回展覧會を開ちた が提興式を単行し終會を以て が提興式を単行し終會を以て

脂を行ふことになつた。数で良、皮、内三科の健康診

蔵末各方面で働き得た金を

新京記念公會堂の反消

大會

(=)

谷口盆太郎氏

合倉長石崎殿治郎氏の両行を小太郎氏は満洲西工倉護所郡・小太郎氏は満洲西工倉護所郡・ 聯合會長等

りふ各方面に陳情 **非要相合の全面的機能方を隙** 手変すると同時に痛到限官吏

阻止の目的を質癥の日来官吏の夢がいまであるかは一の日来官吏の夢が

補鯸社員消費組合新京支部で は二十三日午後四時から羽衣 町分能所食堂で臨時總會を開 催する

連柳端氏以下組合員新京地方 は午後一時より會場別様に於 で清磯龍岳城農事試験場長渡

騰寫版

午前六時零下二十三度最低 十一時 零下十六度

文房具及附屬品

清水

中將歡迎會

荷大祭なれば季韶者も多からを厳修する由、関連守護の稽とを敬修する由、関連守護の稽

中等校出身者

强盜橫行時代

れも巧みに逃走

の設機品として引動き捜査中 犯人が遺留した防寒帽を唯一 犯人が遺留した防寒帽を唯一

の作用命は

祝町三百四

大氣堂

話二四二五番

辻川佐助氏とまであるかましたい。 もほどあるかました。 はたい。 はた。 はたい。 はたい。 はたい。 はたい。 はたい。 はたい。 はたい。

中田氏、会議を表する。 本が知き乗撃にもやあまり、 素を駆迫せんとするのである。 を行うない、今時間でありながら何故我々而工業とするに関してくれといったのでありたがら何故我々而工業にある。 を行うない、今時間といったものでありたが、今時に、のが、今時間といったのである。 一田氏、会議を表が、後等であり、必ずるのである。 の海洲體官吏治費組合ない。一下のは、とするのである。 を治が高くて別るから後に不称合を迫せんとするのである。 の非をさとらせれば、必ずにあるが、の表にあった。後等は とするは、の事をさとらせればなられたいのである。 の非をさとらせればなられた。 の非をさとらせればなられた。 の非をさとらせればなられた。 のがへし顕家を連するものであるがら、のまた。 のまたいのであるがらは等は ないとつがへし顕家を連するものである。 のまたいのであるがらままり、 を表が言吏ののであるがらと非理ない。 のまたいのであるがらを表はならく。 のまたいのであるがらままり、 を表が言吏ののはは純理ないない。 のまたいのであるがらままり、 を表が言文を表するものであるがらままり、 を表が言えるものであるがらままり、 のまたいのであるがらままり、 を表が言文を表するものである。 のまたいのであるがらままり、 を表が言文を表するものである。 のまたいのであるがらままり、 を表が言文を表するものである。 のまたいのであるがらままり、 を表が言文を表するものである。 のまたいのであるがらままり、 を表が言文を表するものである。 のまたいのであるがらままり、 を表するものであるがらままり、 を表するものである。 のまたいのであるがらままり、 を表するものであるがらままり、 のまたい。 の

滿鐵消費組合 二日總會

錦笏松和大出綾瓊大筑磐大太土笠伊吉駒常

大大なしているとしいけばれている。 大大なしているとしいである。 大大なしたかれたさんだだ様きなけてなった。 大大なたでたれたさずひしたとしてなった。 大大なにはいるとしいである。 大大なにはいるとしいである。 大大なにはいるとしいである。 大大なにはいるとしいである。 大大なにはいるとしいである。 大大なにはいるとしいである。 大大なにはいるとしいである。 大大なにはいるとしいである。 大大なにはいるとしいである。



貨左の

大角力十日目標

H 目力

勝負

登野街 かけもたれ いっぱい かけん ない かけん たれ かけん たりきり

土磐越加負 州 の古川 岡石龍川

キッ食二治一式作和 (負合ーロウビ。トスリウツ。ンパヤジ (ルテホトマヤ前) ルテホ際國



度三廿

連が低かつたく をでしている。 連が低かつたく をでしている。 を

入の寒大は サムボート 日が脆みに見 月が脆みに見 のながらひょ を飛ぶ粉雲に を飛ぶ粉雲に を飛ぶ粉雲に

だけで見重は各心から選抜さ たけで見重は各心から選抜さ

V

は養種以上の入場者好成績を清洲米樹組合主像林檎展覽會

> 廣告 0 御用は

電三三〇〇番 ~

三笠町三丁目(電二五一三番) 吉 電町四丁目(電二八四六番) 春 尾 政 態 東 二 條 通 (電三四六四番) 春 尾 政 態 年 一條 通 (電三四六四番)

7

オー

WAA

車賣財

フ

オ

j.

元乘 用

語の方

■話六九〇八番

松山出身湾水中將閣下今回滿洲〇〇〇〇司令官として着任北瀬より二十三日御来京を機とし愛媛縣人は閣下の歓迎を左配により開催敬度奮つて御来會被下度記記 一、自場。暗

新京 朝日 通 八十右御希陽の方は左配へ至急網明を通目拔の場所水道、瓦斯 亞 + 話木 西方 二二

瓦斯、電氣、 がるル

事 ラ 務 室、 及 株式 會社

洲 速 デオ普及

助度圖便關ノ加就電上大陳拜 賜キリ益ス康入テ話國ナ者啓

リ存以ヲル價勘ハ株策ル弊略度念テ圖凡提誘満式釜ニ社時

和此二放ルユ供、洲會行鑑ハ下 段御送トル、聴電社ノミ満嚴 十特座事同サ故取信公一之洲寒

*年二候業時 | 障料電認助ガ國ノ

シトン販集普回弦徒至ョ何ニ立 御ニレーノ會普ハセ現改的只り 接付以較一社及放ラ、狀善放管多 具助右テサ部トヲ送レニト送漏大

でかくくこれが合はね。 では、これた付のは脂肪の様に思 では、四本性は財を集つて、 こ人の間に彫を振らすー。ジッ こ人の間に彫を振らすー。ジッ

に、ぐいと抜きあげて街に釣上げ一覧へて、一躍り棚つた。と見る間

野月の砂の間を、矢立心、必死に

登券投資を怠らざることです

取

仲買

電

六

五

通り

四

御

利

太

店

多

間は、砂を掘ってにじり寄る!

にメンタリ、左四フー

ち上つた。一件突きあつて、すぐ

- と物壁剪しく限力士は待く立

と 尺の長編は、もんどり打つて東海 れるよと見えた除城銀月の毎の六

(比が、一個の海上で

と、ぐいと配って終立てた。 む)公つて、力能を随に殴り上る

灭戊火安戌曜

一日の質イー」「矢流ア

大化を敷らす状態の壁で、眠力

思くし見物の配はかれてしまつ

はいかのできます。

TE III

ツと辿つたる

矢が間は、なぜかじりン、じり

四度一。四度一。

間の明びか―一試つた様に試配

らず慢ずる時は過失を生ず

●二黒の人 & 少の骨折はあるべし

5

仕入りなり

白橋八橋社の土民に上つた二人は

期間からは、暦月の前、西部か

うとしてある二人だっ

かれのかは、とつさに、 へうし

ヘッケヨイロヘッケヨイー」~

明日は天崎れ、天下の大鵬を張ら十冊と草相撲。今日は天下の網放

構へた戦闘―。

た

辰已藝妓

場所」「駅の中びが上つた。 呼出奴の裂く僚な際につれて、(第一一ツ暦月の数——。) 川間での 鈴木彦次郎 9

パッと行司は二人の背を叩いた。

配は、今して配着を東る野説の響

数呼の限し場架のどよめき、

ゆっくりといを激いだ限力士は が市は外急に二人を限み合はせる。そして、呼吸を認って、**ン

では直ぐに飼いた。 では直ぐに飼いた。 では、 の年 が、個月は唱くも上字をないたが、秋だに四つは崩れない。 **陸鏡平他二氏章** 行友李風階

優等清酒

新綿も各種豊富に取揃へてあり▼受渡貫目は正しい▼ 打 直 は 迅 速

三世通失中京新 (前局便事) 階ニルビ鮮繭

朝京東公園裏通

中村製綿所

就石川吟醸

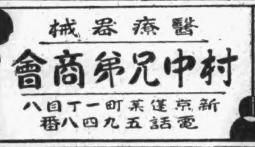
八時

電話四人士の書

●大白の人 関連すべき針野 機変る多少の障碍に携むな 甲と繋と庚が吉 類水に辛抱すれば吉日たり 関係の人・静かに安らかに 平和なれども何

●二黒の人 & 少の骨折はあ く持續心に乏し審設すべし 丙と丁と辛が吉

ゴトウ







利殖と愛の シンボルです 幸福は さて其選擇には

甲以及第中贈呈 昭和松年度

證券投資

賃に御家庭の將來を

酒は

綿のお手で 動もまたよ 野いかはる お料理 新京梅 技町丁目外 是非!! 宴會は 三七二五 家 社會式株造酒西小 丹伊縣庫兵



元分二

【奉天國通】現在滿洲に於ける官商合辨或は異常の滿人側 る官商合辨或は異常の滿人側 これ等の利益金は殆んど大株 主たる貫役連の間に於て處分 され一般株主には利益金の配 間には所有株券を費却して相 の方面へ投資すべく企調せる 有相當數に上つて居るが て在率外人間では早くもここ に着耳し種益獲得と將來の建 に力者現はれ斯桑者の注目を なす者現はれ斯桑者の注目を

金 岩間商會宝部

回

間商會宝元部

は

Q

ンビルハ

入北林秋街ヤカスイタキ 参三四六五版電

天狗。

於る 減り原調共同の 水路作業は中絶

は絶異だらう、解氷期に は絶異だらう、解氷期に は絶異だらう、解氷期に は絶異だらう、解氷期に なれば何とか打開も出來や なれば何とか打開も出來や ない。

りの五千順は満洲沿線各地に 「面に費却され同地に於いてレ ビンの原料として消費され機 で煙蓋方

輸出統制强化

花咲く樹

電氣流

航路標識新設

敗修に

田界の市民聯合會大會は年間 相界の市民聯合會大會は年間 が放けの一手段として傷圧決 清一ケ年甦期、素質六ケ月支 清一ケ年甦期、素質六ケ月支 高工團体緊急大會に提案せん とし交渉委員を漂び、上海市 長見緩城氏を訪問請願する處 あつた、之に對し吳市長は個 あつた、之に對し吳市長は個 を述べ引取らせた。仍て市民 大述べ引取らせた。仍て市民 で変かないものだ と述べ引取らせた。ので市民

【大阪関通】日本色染サロン ・ (大阪関通】日本色染サロン ・ (大阪関通】日本色染サロン ・ を申請し絶工者に無可申請中の ・ を申請し絶工職生の側當基準、 を申請し絶工職生を統制規定に制す を申請し絶工職生を統制と併 を申請し絶工職生を統制と併 を申請し絶工職生を統制と併

あんま

東三馬路無線臺下電五七三六自一環合「本部(平井)

歐洲輸出有望 鞍山のピッチ

無く安便で選出されて居るが をと歐洲ピッチの値上りに歐 がは、日本内、地に於ける 営替 ので選出されて居るが

外商筋が着目

まは

し越なへ内機構京新度一ヒゼ ▶季 三 四 五 六 話 数 ◀

والمولي المرابع

兩リ水路會議停頓

午後は文書戦

ソ聯側に嚴重反省を求む

協議の結果各種運賃を左の通りの大阪本配入電に依ればニューヨータ棒東運賃同盟では

紐育極東運賃

一、曹継灰は三月一日より六(舊率十三弟)

共同水路作業中絕

との正式通牒を設し、勝側のがため當分アムール、ウスリがため當分アムール船舶局との間に率々しい文書職が展開せられるものと見られる、これがため當分アムール、ウスリ

高議が今度の標に停屯した 会議が今度の標に停屯した 文書を以てなされる事にな 文書を以てなされる事にな

上海の

决濟延期運動

曹達は現在契約率据置

衡中である

明日の化

の日の化 単工場の無 OI

工學博士 内田俊一氏談 元本の製練場、新町の紡績所、梁 西々は先進園と同等な資格に から伊東法は、これを歐洲のそれ るこの金では力が國の工場の入れて工場なるものを設立し、先 から失敗に錯して、民間の有 たみら作業法に至る迄を國民に れが明治十四年頃から日清殿 でから作業法に至る迄を國民に れが明治十四年頃から日清殿 でから作業法に至る迄を國民に れが明治十四年頃から日清殿 でから製練場、新町の紡績所、梁 西々は先進園と同等な資格に かが あるが、大体に於いてそれが あるが から作業法に対して、関目の化學工場を語る フト

予をして云はしめるなら、例ではないと思はれる。しかしで、何も化単工場に限つた事

を研究した上は、かゝる環境 を研究した上は、かゝる環境 を研究した上は、かゝる環境 優別すべきである。今日に於を忠實に實現する標な方便を 環境を作ることに於て ら、明日の ら、明日の の汽艦等に於て非常に優良な

化學工場 等の自動装置 精密な正確なものとなる事は けだし明らかである

久記。 本夫取引所仲貴人 港級引所仲貴人 走松町士番地 走松町士番地 多少八不的御用便气

田銀鶴千番地のこと

家屋

電話

市營バス 華々しく開業 0

舟に引上ぐ 中に引上ぐ

り 【ハルビン関連】交通統制の 最接交渉となつてあた市内業 合バスの買收も相當の迂餘曲 本 折があつたが結局市公署が汽 ることに決定、新車二十一番 を加へ総合八十五臺で市營バ スとして二十日華々しく開業 した、これと同時に從來の二 上で断行則タクに對抗することとなつた

話四九三七番

電話用達部 型 融 融

ススターの一大競演!!…… 心質曉子、鈴木澄子、新興五 中川春代、小杉勇、島耕二、 村田 ・實監督作品(中籍)

和宗キネマ

新京東四條通一三新京東四條通一三新京東四條通一三

前會數光金四五通條一東京新 **社 成 萬** 番四八八四話電

賣廉大品殘皮

超軍

土地

本茶道具。 外どり茶園へ 東京三條通二十一 東三條通二十一 日子 TATE ONO S WA

郭文 *

門司、神戸(大阪行) ※印二三等船客設備船 ※印度 島 寄 港 (午前十時大連出帆) ・ 年前十時大連出帆) ・ 年前十時大連出帆) ・ 1月 廿一日 ・ 1月 廿二日 ・ 1月 廿二日

町士富

京京 · 本

交回九七九五

村長助役資格

本 證 券

奉天省公署

すべがやで横中のために投資業

O 版版

北澤製版所

*江

は亜急に依り

设合 **小津安二郎監督** # 三日間上映 日より 座

第一篇「鉞り組階離篇」維新 の大栗を目前に薩摩神用盗と の大栗を目前に薩摩神用盗と

馬天狗

Baj.

I

電話五人二九番 電話五人二九番 では、一次に の機構度るを の場所である。

صماما

貸家 国省 御希望の向は残電

は 通し家、殊に多向きは暖かくて住 通し家、殊に多向きは暖かくて住 場にお貸し致します場所寛城子 格安にお貸し致します場所寛城子 格安にお貸し致します場所寛城子

內科、

產婦人科、耳鼻咽喉科 外科 花柳病科

水醫院

業

→ 和 洋 百 貨 廉 賣 ◆ 和 洋 百 貨 廉 賣 ◆ 有 洋 百 貨 廉 賣 ◆

絕

好

北日本汽船

ョール其他防寒具一・水裏、婦人小供オ・銀狐、十字狐、紅 一一和 式バ狐

後の大見

急 告

母 3 £ 許来 比 0 守

春新 着 皆様のお店として

九會

(東二條通交番の) 関町二丁目曾一階町二丁目曾一

の御通知下さいの御方やは我縣出身き各料学より率は我縣出身き各料学より率に

各

電話四九六三番

ローにて、教質経由内地主要 高速設 静九時 清津設 後七時 での関級及鴻郷主要解此にジャ

シオ獺ョー、

最 切

一月三十一日限。

日期

四外相は右方針に基づく東亜 全局の物が 招乗のためには日 支援等関係の際成を認めその 急速管現のためには日 、支援等関係の際成を認めその

で、欧米河風が支那の獨立性 を無視し支那を殖民地観し で、欧米河風が支那の獨立性 を無視し支那を殖民地観し である現状に満足し更に進 んでこれを翼ふ解除極まる

政府との交渉を一層緊需且 を自覚せしめるために充 ・事態以来幾多の難問題に ・事態以来幾多の難問題に での二段を基了 がのこれを機會に當地公使 がのこれを機會に當地公使 がのこれを機會に當地公使

外相の包藏する

對支外交政策

を殊更に幽解宣傳する驚部 の奸策更らにこれら不誠意 なる輩の妨害により對外問 なる輩の妨害により對外問 なる輩の妨害により對外問 なる輩の妨害により對外問 なる輩の無力、これらに 対し延省を促し中國人の東 で終げる立場並にその使

日支親善關係の釀成に邁進

3

らう、何れにしても設會は りの面目が必要であらうから不足を生じた場合には實 情に即して協養を求めるたけの言明で問題は片づくだけの言明で問題は片づくだけ。

電話に関務大臣の演説に對す 電話に関務大臣の演説に對す で廣田外相の外交演説あり、 で廣田外相の外交演説あり、

る質疑に移ること A なつてるが、二十一日正午質問通告の結果次の如く決定したの結果次の如く決定した

の監督に関しては司法権の神

て起つものであつて検察事務 尚美濃部氏は**顕言に於**て初め

間島共助會

圖們に支部

孎託

藤田拓務

論が唱へられてゐる際であり聖と其の獨立性より見て改善

では昨今奥地の結婚工作に伴 に造力しつつある間島協助會 では昨今奥地の結婚工作に伴

燃料関策樹立問題につき首

脅の論調の中心となるのでは 殊に帝人事件の人権医闘が讃

益

R

·無解散

族院側の觀測

(東京関連) 二十二日 再開体 會明け議會に臨む貴楽兩院各 派の二十一日正午現在の勢力 分野左の通り 貴族院 慶 族 御十入方 同 成 會 百五十八名 同 和 會 二十三名 火 曜 會 二十三名 ※ 新 所 属 三十二名

具院質問順位

政界表裏事情

梁蕭院

貴衆兩院各派

0

1

備

ふ

3

聘

一音屋信

物

これでの

の思情甲賀三郎

に直機離れを引 無に更めて日本朝野 無に更めて日本朝野 に要め近十分

民政策方會

百 十大名

四百三十六名 二十五名

日二、美濃部達吉氏日二、美濃部達吉氏日二、美濃部達吉氏

検察事務の監督に関する件

雨者の諒い で隔意なき

満見の交換を遂げ

問題い積して居り

たすら念願

政府の對議會方針

無報報と協同して調査班三班を 組織し古林、奉天、安東、龍 社會調査を行ふこととなった これに先だつて統計處に於て にれが準例調査を行ふため 一月十六日購負を前記各地に 派遣した の調査主要項目は地方住民の

政治經濟上に基大の貢献をな

に變化して行くか多少の異した制能で終るであらら、唯一

朝

一心

、精酒

員產

會の一篇目

立役者として活躍する。ツテリツで今後ソ聯共同技術委員ものと見る

ツア氏はニコライエー

フスク港務部長に轉じた

頁八共刊夕紙本

macaaaaaaa

ヱッ

攻防の秘策な をはられ

政友の動向注目さる が開明せられ 説する非常時財政政策に公債政策の調整の必

爆彈動議の後仕末を中心に

は、 島田俊雄氏起つて政友會を代 島田俊雄氏起つて政友會を代 表し質問の第一陣を承り全面 的に政府へ施設を批判馴決す る禁だが、その肉迫の程度で 内容如何は直ちに政友會の本 期議會に於ける動胸を表明す べく多大の闘心を以て注目す べきものがあるであらう

國務院統計處で

鄉村社會調

政治經濟

への貢献期待さる

程文 は正式に業首権 表明し終 大きの は正式に業首権 表明し終

議會の無事

切拔を

味がある

カマス製造

鮮農副業に

和局長更失 に供れば、蟲に轉任を命ぜられた水路協定ソ聯代表アムーれた水路協定ソ聯代表アムール船舶局長メッテリッツア氏の後任としてモスクワより交通人民委員會委員イワノフ氏が此程着任した、同氏はモス

て居るが最近吉林省の鮮人農民の開業として相當注 性人農民の開業として相當注 が最近に対すると共に販路の を対して居るが、種期以 が課習會を開催して をの普及をみると共に販路の が課習會を開催して をの普及をみると共に販路の が、種期以 群人農民の副

加局長更迭

綏芬河特

〈復越境着陸

十四日滴洲 るソヴイエッ

交部

から嚴重なる抗議提出

各

高攜勳一氏〈岡上旅客主任〉

(同上庶務長)

総 楽事務の 總法學の 總法學の 總

參與首腦會議

議會答辯等を協議

圖們 ても國

のであるが其の調査は一股民 版况其の他十數項目に亘るも であるが其の調査は一般民

臧民政部大臣

する者、政は地方公益に質績ケ年以上行政事務に經驗を有りる者及び一

電話五四三二

名力士座談會郷地

獸國採檢記小進節

第の

独言い

福永恭助

粉览层压工谷讓次

胸が躍る快作と

胸が躍る快作と絶護の翼山積!ゼヒ御覧下さいこんな新しいこんな数利たる忠臣蔵は始めてだされたる大評判! 流に吉川氏畢生の力作!

て京闡線北鮮方面へ出張一十一日午後六時五十分設 全滿日滿商店協

京の上都合では佳木斯

赴く旗様

の支部を設置したしと其筋に 背面的援助を貸し一面には掃買討伐の各售備職の 順匹賊の宣撫工作たる本来の 順匹賊の宣撫工作たる本来の して
一個匹以
一個匹以
一個匹以
一個匹以
一個匹以
一個正以
一面正以
一面正述
一 ■門支部の鎌倉式を奉行する を得た模様で近く間島協助管 一日午後五時半新京艦あじる場所と事務打合せのため二十 廿一日來京 月月日日 温景高等下 十三度七级 温景高等下 十三度七十三度一七分分 大時 十七分分 くどちらに身方するものですのどうするかぶ問題だ▼といって吾々は煽てるわけではた 歌が一 互譲のもとに側端に解決出來 に得組織もこの際よく も自覚して安い品物が買へた動機となつて商人側が幾分で かあるまい▼今度の消 へばこの問題が さ 空前の上 大生ハイキの江瀧子出

菊池 寬

基

日滿諸問題て意見交換

青蔵不侵略に関する政治的協 三國の完全なる團結共存共榮 の賞を挙げんとする用電ある 等が先づ實行に移される重大 事項と解せられ事態の推移如 可につては責任ある態度を求 むるため事實上の孤毀者たる との直接受渉を提議 行する。 田水産局長は外務當局と附額 正を希望するも農林省では約改正は部分的とし補足的

農林省では全面的改訂要求

條約更新期を入年目に短

一、漁獲制級級和

延長

大反独当!! 念佛宗教の開祖法然 上人の姿をかくも蹤如と描けるは今 維着は文壇唯一の法系研究家 中村武理 觀世音大坪草

牛東 込京

五、政治概要

熱河省に於ける

会員機に分ちて之に震長を任 管務を管掌してゐる、又一族 管務を管掌してゐる、又一族

(行政権者)と稱してゐる (行政権者)と稱してゐる 礼薩克は族務全般を管章し補 地管族章家(デヤヒロクチ)を 地管族章家(デヤヒロクチ)を

的事態が設生せぬとも限らな ると共に責任を分つ無運が見い解動職の後梢末等につき実験 主張に對し全個的の支持をす 政無解散策想が強いとは言へ爆 指導鞭揺に鞭化し政府の政策 青原 が 第の消長を決定すると ある、隣政府態度は是々非々 主 東京議論 日政政策をは観舎 いので其の對策にも用心して ら

好意的是々非々

る、向腸間自身中小商工業者 年度豫算に一部分では實現さ せ十一年度豫算に必ず計上せ しむる方針である 足並揃はず

主義を持す られ歳房を通じて自然の政策 主張の管理に努め政友會との 友好解係を業てよる議民を答 方が解係を業てよる議民を答 本編くである 正陽響祭廳の

全幅的に政府支持 郷市の美を形成する車の失敗に続いては

備を進む

も耐火見直して来たために、 おおびの大震正前の市中景気 されてゐた震正前の市中景気 では、特整界の景気恢復は滿 末氣分濃厚となり久方ぶりに俄然正陽街筋は活况を昼し蔵

好材料續出

特產市場活况

舊正前の哈市明朗

之を一昨年に比較すると約十 に終ける昨年の營業税收入高 に終ける昨年の營業税收入高

関係方面を招待、関九時散會 新年宴會は十五日午棲五時か 新年宴會は十五日午棲五時か



では王公の私有財産と美有財産 は王公の私有財産と美有財産 と分離されるを原則として語 るが、親長始の摂公署に於け る官吏の大部分が王族で又一 る官吏の大部分が王族で又一 氣横溢す

に對して清朝時代は理議院事 で支持はれて居たものである (昨年度は事要により支持は れず) 開通なる

> 首都整察應暫佐 百都醫察廳技士

内と雖る之を光分に競揮す

首都警察廳警佐 首邦整察廳篇官

首都醫學應巡官

治療受付

正午より午後三時まで

治三級体

甲

見

料科

杏

林堂醫院

たが

電

豁

五九四七番

島信之

の時に

首都被發出罪官員

首都警察職巡官

根棧好况 900

せついい 日本程際に撃立する廠天樓……市り頃には内外ともスッカリ完成するといふ、何にしても何頃には内外ともスッカリ完成するといふ、何にしても何頃には内外ともスッカリ完成するといふ、何にしても大変にふさはしいビルのモンスターだ。 園園の表来は

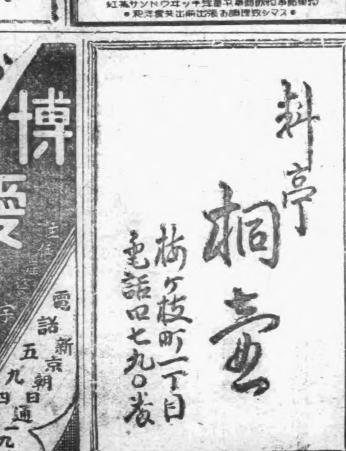
分の二は出揚つてゐるためなり、概に、奥地在荷の三なり、既に、奥地在荷の三

首邦警察廳警佐

百勝懋樂鄉藏官









布しながら関窓の大通りを

7;

算報告

偿

交通機闘

近代都市に於ける交通機構と みて既に幾多の失敗が指摘

あらら、都市計畫の優秀な専衛無難の失敗が讃見されるで

れだけの期待を

2.

寶

石

ます何本店内御一覧下今度北京市債暴落のた

內

來年の皆既蝕

親祭園を組織し感謝の意を地議和會の肝入りで友邦員

(東京騰通) 昨年春は日蝕を見り世界の學者を襲誘すると り世界の學者を襲誘すると 原天文聯盟総會に代表を迎示用十九日年接三時十八分六月十九日年接三時十八分六月十九日年接三時十八分六月十九日年接三時十八分

格四級俸 為受養技化

棟夫

損益計算及利益處分

税務監督署副署長

滿洲國辭令

之に 大き互利を挙げて居る 銃器買上 **給四級体(各通)**

養田 正道 芳輔

間にある小銃、拳銃の質上方(敷化支聘)熊警察局では遅 敦化料理屋 一好であるが成績関

新年宴會

給二級体(各通) 給四級体(各通) 載

表替裏替

尾

土

町五丁

疊

岡疊店

電話五三四六番

取取營頭 簡務 役役務取 梅津清兵衛 転査役

宝 京 新 农 森野常太郎 九山 直助 寺内 清次

古紡 冬の洋服オーグ類

「新京よ コロムピアレコ 200 時京祝町ラミの売町 H R 智信 鲦 通 六三

北京華北天骨董ヒスイ商 Ξ 運 監禁(呼)二 * 店

新翠 高 金石珍ヒフ 佛珠不石瑚瑙驅綠玉玉 價 K 7 買 A

◆品目▶

舊

弱

0 チ ス逸す 3 勿れ

絕好 產 п

董 格賣 電話五 七九五芸 出

外科花便有料 哲学士上

世界と歴襲とに関ひながら ちで零下三十度の満洲へ動作である在満野祭官の書間 京警祭署へ現れた、毛皮のに感激して朝鮮からはるば 外套にくるまつて寒さに炭る耐寒般間の旅に上つた一 へてゐる人で溢れてゐる新老人一平壤の中山雷三氏は 京を訪れた半裸体姿の老人を人一平壤の中山雷三氏は 京を訪れた半裸体姿の老人をの、薄いランニングのシ 的な感じにさへ打たれるも

新京記念公會堂の協記長は事 任治欠員の気め地方事務所員 が便宜機當じて居るが候植者 として前大連落機計員供楽部 物部長額配足勝氏が内定して 観る様であるが解散氏は潘姨 野ある機れたる手腕派であ を行う備から類待されてゐる

のさきに軽筆者に表謝し崔樹 有名"在物種類第三百二十名"に伴が更にその完賞を對るた 表別港西百二十名(在義務率 新州橋軍政部では勝軍の整備 軍人から国軍の軍官及び軍員

物で競表されること」なった ・ を採用したが、来る二月一日

五十八歳翁の

平壌から半裸体で來京

書記長

眞殿氏に內定

在鄉軍

人四百廿名

滿洲國軍人

二月一日所屬部隊に入隊

日本人理事約三十名、満人響能的七十名票集のため二月二十四日より新京(理事)大連事天(書記)の三ヶ所で採用を大会職を行ふ事となった、理事の受験受格は専門學校卒業生の受験受格は専門學校卒業生

店租合ではさきに七十銭の値 ペカフェー租合、新京第一料援 出

谷次長、西尾参謀長、吉澤廿一日我々代表廿数名は版

公會堂の利用多く

上の陳耿を新京屬保安保に提出したので開係では以来沿線 出したので開係では以来沿線 であたが頭和合の陳耿による 七十銭の値上は余りにも過ぎ るので許可を見合してゐたと ころ側値上は全摘各地の要果 者の呼びであるのと且つ又考 様である、右に就き値上する橋

新京体育縣盟劍道部との劍道 当下滯京中の在米蘭第二世と 対合は新京体際監劍道部との劍道 地一日午後四時から商家學校 が東行、火の出るやうな

住消

息

貨

一袋

ξ 一、三〇四六

佛滿無線電

非年からカフェー、第一科 を対するから出てるが、 は状態りに受入れる事が出 をす各地の情況を調査した をごろ各層とも関様の値上 をごろ各層とも関様の値上 をころ各層とも関様の値上

米國第二

ンメ玉 1ェ 小 大 高 栗 リ蜀 ン 粉ケ黍 豆ド 豆 豆 栗

11,00

連日引張り凧

半ヶ月間に千五百圓稼ぐ

脳を

1シン

詐欺

を通じての佛藩州國の接觸 を通じての佛藩州國の接觸 を通じての佛藩州國の接觸 を通じての佛藩州國の接觸 を通じての佛藩州國の接觸 を通じての佛藩州國の接觸

克斯 外部证据

中谷時訂店

梅枝町三ノ六

食堂完備電話附會駐事務所又

一杯か」つた宮崎薬房

消費組合設立問題 大同廣場一 ま 帶の店舗建築に

原合によつては政治問題化せた。 高合によつては政治問題化せた。 はその中枢地でありその影響にあるが新京 はその中枢地でありその影響。 高人側も値に比して一段と緊 を のかせてあるが打に のが表 根本的檢討 中心とする附近一帶の頻和市の一帯に満洲國官会又は射珠で、計量による膜大なる地域でこれが重めて、計量による膜大なる地域でこれが重要による膜大なる地域でこれが重要による関大なる地域でこれる場所がなく早くも今年の

十二月一年十年昭

1十四日配金公會室に毎合して では、1000年の 1000年の 10 消組に對する第三者の批判

大楽的に之を検討してゐるや別表當時とその無を異にして過去當時とその無を異にして

あるが新京の各區長は二

意のある處は

掬んで貰う

金融合作社

左黨の脅威

ビールの値上

ちかく愈よ實施か

週間の豫章をもつて大阪方面前七時新京្がひかりでわー第連土沼田勇氏は二十四日午

▶目科業營◆

製機上表新

造床敷替疊

械

沼田辯護士

相穀

城

鑑されることとなつた

大賣出景品 其後の一等

三十度の裏無にも知 大會は廿日午前十一 大會は廿日午前十一 大會は廿日午前十一

無にも拘らず観楽 一部十一時より吉 クに於て華々し を が、銀盤上等下

清水中特は愛媛縣松山市出身で幼年時代から頭脳明晰軍人 で幼年時代から頭脳明晰軍人 とて現在に至つたものである して現在に至つたものである が同氏は川島大將と共に松山 出身の故白川大客、秋山大將

正誤

二十日附夕刊第二

振つて御參會されたいと 振つて御參會されたいと

二百古

二の足を踏む投資家 九、三〇 4章の表 人、三〇 4章の表 人、三〇 (東京より) 九、四〇 (東京より) 一〇、四〇 (東京より) 一〇、五九 時 (東京より) 一〇、五九 時 (東京より) 一〇、五九 時 (東京より) 一一、四〇 (東京より) 一一、四〇 (東京より) 一十、四〇 (東京より) 一〇 (東京まり) 一〇

月段安大

口

林に

全國滑水大會

□□□□□□□ ○五五九一三

. . .

家敷設間場

DO

頗る盛會を極む

年で三年連勝 本で三年連勝 本で三年連勝 本で三年連勝

連勝したことになる ・ - 三八 ・ - 三八 ・ - 三八

一、二〇〇 | 「本海 | 一、二〇〇 | 「本海 | 一、二〇 | (大連より) | 「本天上り) | 「本子 | 一、四〇 | 日用品値段 | 「第一、四〇 | 日用品値段 | 「第一、四〇 | 日用品値段 | 「第一、四〇 | 日用品値段 | 「第一、四〇 | 日用品値段 | 「第一、大連より」 | 「第一、大連出り」 | 「第一、大連工り」 | 「第一、大連 四三、二、三五大三〇〇連〇 111,00

0 E

五四〇〇

E

ス等職

二八五話電

新民社主催音楽 新民社主催音楽

アノッ件コ奏 東亜報、香州の東西 だいでは、 ででは、 ででは アペマリヤ グーノー作曲 アペマリヤ グーノー作曲 アペマリヤ グーノー作曲

三、ロシア民語

大娘(約) ズノーフ作曲 報、ニュース 作奏音樂等 の材不忘作 は本不忘作

中夕織

號)五女京子さん十日間撤冶氏(羽衣町二丁 出目

▲ 高橋忠氏 (落薬町一丁目入番地) 三女辰子さん十四日 番地) 三女辰子さん十四日 田生 二番地) 長女泉さん入日生 二番地) 長女泉さん入日生

本言同仁市氏 (大和本) 十八日本

午前五時六 四十

は かいまして は からか まず らった かっとして ほがらか」が生れますどうぞ皆様 かりつとして ほがらか」が生れますどうぞ皆様 グイヤ街 麗人」跡 グイヤ街 麗人」跡

話三八 PB

賃金備取所 ア平二温ア平新築 水四四洗量量

式半平便六八

所疊疊

六六

月 六十七圓 前

東亞與業株式會社新京特別市新發屯清和街第一〇 四新京號 in 三張 五所

護

朝日通り八 + 電 (新京普通學 五 九

泉

番

玉

疊

商

0 原三馬路獲發留所摘

30

外交員入用● 器 7 7 Ξ.

は獨身舍宅向十八室廿七圓より五八圓ぎで綬房、斃台家具付、風呂、食堂完備電話附 都 電話四九〇六番

一同感謝してゐる大第であ を御多忙中にかゝはらず長 も御多忙中にかゝはらず長 も御多忙中にかゝはらず長 令部の巡視を行ひ午後四時

の何候を受けた後午後二時より板垣参謀副長、緑田、林田 吉田以下の随負を隨へ者山〇 側司令部に至り若山〇國長よ 側司令部に至り若山〇國長よ

時 最初からその無管物何を無難を 開都いらい利用者が護出、連 ど 日先的申込で体む関本ない繁 て ごつと予五百隣といよ数学で とつと予五百隣といよ数学で とつと予五百隣といよ数学で とつと予五百隣といよ数学で とつと予五百隣といよ数学で とつと予五百隣といよ数学で とつと予五百隣といよ数学で

舞員一門この熟滅権つた行 信に感激してゐる、なほ中 山氏は「耐寒難問」と難して 左の如き挨拶を寄せてゐる 在消響察官各位には日夜 酷寒と硬賊の襲薬に剛は れつゝ住民保護と治安維 れつゝ住民保護と治安維 加につれて製費も自然機長してゆくが目下のところ枚入三 で結局月々予願が丸々建つて でも最月々予願が丸々建つて

を関することであり、これが 準備金の積立が必要であるの でこの順稼ぐだけ稼いで相當 の絵裕を残したいとえらい電

獨立OC録司令官に英轉した 受援縣人會で

小學校父兄會へ金州國を客財の荒木前地方事務所長は離京の荒木前地方事務所長は離京に職じ子女在學記念に西廣場

世界一

商 亦 ツ ケ

全滿中等學校

成ス新加動1第 動で京校場ト七 は1商八並大同 左ド栗校に含様 左の和くである をのか、 をは二十日奉天民際連 に定天野大リンノで参 にを天野大リンノで参 に本天野大リンノで参 におしむた。 大会

▲ 尾崎濱市氏羽衣町から錦町四月十二號ノーへ 「大町四丁目十九號ノニへ 「大町四季氏常能町から規安 前 「大町の長子百十九號ノニへ 「大町四季氏常能町から規安 前 「大田東幸氏常能町から規安 前 「大田東寺氏者が地へ 「大田東寺氏者が、「大田東寺」 「大田東寺」 「大田東 「大

▲渡邊勇氏(廣島縣)原は一大の高砂町四丁目二號ノニペト高砂町四丁目二號ノニペート

トラック タイヤ (会マークタイヤ)



ダンロップ整貫指来超过常型

淞 製造









々抜けた野郎で

見えます。お藤に、山黒に、

お藤、四郎、西山聖庵

あの。そし

きて行く以上、修正一定量

ばり、仲間でどざいます。が、少に眼を瞬つた。

ない、二人三人、皆つてたかつて新ってん、二人三人、皆つてたかつて新ってたかつて新

まれて來たわけでございます』 「ふむ、間違ひはないか?」

に数ヶ所の紙ー

の紙――鋭利な剣刀で切っ

語ると、それがか

際して能計に患席を利戦し、牧主路と、それが応節の熱で無敗膨一能を利戦し、牧主が応節の熱で無敗膨

が、本側は切らず灼かずに下皮を 標の効果があるので、可成り離壁に を要きず、且つ自分の手で耐変に を要きず、且つ自分の手で耐変に を要きず、且つ自分の手で耐変に

保管も(電話)一何物

しも臨時倉庫

四六二番へ)

吉田亦雄

痔核(いぼち)経痔(かゆち)

お話のほかですが、

加速のでは対応

出る時の痛さ、つらさは頸鹿の

新發明

うわずつた壁で叫んだ。

と、異様

。 乾分薬は酔って寒て、驚いて 中にやったものと考へられま った分素は酔って寒て、驚いて

で悪に放験がおこりません。そことれルギーを挙げて肛門部へ集中、との対し一致も早く之を指さらと一致物が

がなったますので新しい 肉芽が出 そして乗中の 東莞素がごし (

えます。外に三人の靴を受

物を 吹っればならず、吹っればならず、吹

が、難の松公

と、丹後が云つた。全銀の類は

ととで即転は緊視するものであり

解され

說明

進呈

を切り取つても後の

洋 行

便,安大路

典五河市 吉田病院 日下新議中

新京室町二十月一 電話五九二番

血・ヒステリ

=

け

れでは位置を質解数せればな



田

35

ち取

を誤

婆羅門

(五十二) (五十二) (新受は、厩獣な臓器で、一脳(の説) (本・一) 飛後は、田郷を出て行く時から

たこと戦を超へると、地質の機あたこと戦を超へると、地質の機のアフッリ切れたと戦、単軸の組のアフッリ切れた 1

時が弾を横に思った

「こうなつたら、荷腔に再上げま 縦たはつてゐるの「こうなつたら、荷腔に再上げま 縦にはつてゐるの「こうなつたら、荷腔に再上げま 縦にはつてゐるの「こうなつたら、荷腔に再上げま 縦にはつてゐるの「こうなつたら、荷腔に再上げま 縦にはつてゐるの と、丹袋は、驚いて、

を とした歌生で、脚に殿でも 悪い、 概率とした歌生で、脚に殿の方でも悪いと、 脚に殿の方でも悪い。 * 歴学とした武士で、胸唱版で 代では、とんな恥しい秘楽に「あつ!」 ガサんと描き立て

A

西長 他三名が集まった。 東京記念が出て、 選本二名、 概 正 世

のならない の思ろし

嚴寒に際してぜひ= 傳えしたい寿家庭療法

目種業營

食料品雜貨

和洋酒罐詰類

世帶道具一

御諸 用官 達廳

新

京ダ

+ の六

街

電話 三二 〇五

がら昨今患者の変肪が非常に殖えて変たそうです。に猛威をふるふシーズンに入つて各地の肛門病院では例年のことな びしい寒さが報々と骨身にこたえる今日此の たしても持持ちにつらい霜と吹雪と空つ風が遠慮なし 頃

ばん症狀増悪するいま、充分な手當を講じて再び苦痛を繰返さない ように心掛くべきではないでせらか。 るやうな激痛、 痔で苦しんだ經職ある方々は、まさかあの身を割かれ 不快をお忘れではありますまい。そしたら野がいち



無が関をもたげ鬼所健康を割し易いない。 くて始末の憩い季心です。なかでくて始末の憩い季心です。なかです。 さのため、命えにも のるにつか いのであります。

させなくなる――之が最大の病因になどの影響から血の液通を顕滑に

効果から見て

日)

丹後は、その、

中は熱解れ、

野が、要をかって、その要から戦がもれましたので、買ひ出しに をで、胸に木縄、元結、桁側の機 をで、胸に木縄、元結、桁側の機 がは観察、すべて女の八昧品を で、対域、矢坂辺穴

いった緑酸に近づり

平

うてい

丁皮、は悪で、悪やで

「死骸がある」

異様に叫んだ。一

火)

に動きが冷え込みや病臓、不満 の巣みたいに分布して 唐る 静脈 が冷え込みや病臓、不満 特には如何なる原因か がんな場合無理に手をする (する危険が耐くな

のよる血が一ケ所へ停滞するとい まりとなり、附近の組織をいためから後からとふる血が大きなかた 膿んだり触れたりたどれたりす 静脈血

此の意味に於て取に息部を切り事でなければなりません。

は一たん使命を楽し

のです。

「はなること、それと同時に腐れたまれた患」
たいれた患が一肌では極いのも病因である痔疾患の心臓を動したいれた患が一肌では極いのがない。

「はなせること、それと同時に腐れたいれた患が一肌では極いが、のです。

新京祝 町二 医ん Š 5 一回(太子堂東角)

差 非 外 店 へ 循環清淨機 安牛 全・優い クリクリ クリ 京视町新京◆ 機設置 ーニン

京

誇るべき和漢薬の

相乘的

に含まれ

た

十歳、一価、二個各地乗店にあれて日際報音は三十銭、五十銭 洋行(振春東京七七〇〇 東京艇座一ノ七 数買元。東京艇座一ノ七 長 医学博士

吉田野 長舞博士武岡

主

荷物發送到着 四六二番)

山運送店 電話二四六二番新京祝町三丁目十三番

は是非情味粹な哥澤情味粹な哥澤情味粹な哥澤

家 本 庭 E 0 ŧ

性 女 る ~ ぜ 健 ひ 12

今年こそ!

元氣に溢れて



効 し宮! 産ュ 肩:疝 : 神: 前: の 無: 妻: 後: 疑: 胃: 弱:

ナればそれに適合 六加減まで加減中野湯があります。御客監御客をによりて本舗には第一加減より第 お知らせ下さいま した加減薬を御送

どんなに 歌悲が襲って來ても冷えを知らず、用煙も正調に、頭痛眩暈や産前産後のかろくな苦痛も打ち忘れたやうな健康酸 した中将湯の服用がぜひ必要な事でありま

最近和護療が復興し、この開究が整着を始め一般大 をの概れた効果も健く経験的に職められて参りました での概れた効果も健く経験的に職められて参りました この和機順の代表とも云ふべき中落場の効果大にして この和機順の代表とも云ふべき中落場の効果大にして にの相談解の代表とも云ふべき中落場の効果大にして ひますと各々の職は充分その効果を表はし他の効力と のはかりでありまして、其の有効率は例へば がに増加するのであります。 的に増加するのであります。 がに増加するのであります。 かられた 微多の和微楽は 練で結人 疾患に非常な 労力 ひられた 微多の和微楽は 練で結人 疾患に非常な 労力 助け合い強いがを場はします。できた。 の無く一杯では折れ易いが三球型の かは の無く一杯では折れ易いが三球型の かと からます 大洋楽の がく 単映で用ひる場合は主のがは 変を適量配合せる 結果が作用は 写に根窓され戻して配 りますから個信頼の上御服用下 は照料を精選し、近世科學の失端を行く最新式 行効に且衛生的に調明されたものであ ることが出来るのです。

りいたします。加 **减薬十一日分二**圓 津 本店 支店 電話用工海振卷大阪四元六 大阪市市區長瑙橋第一7目 東京市日本橋區 過三丁目 武用分 ¥ .20 3日分 ¥ .50 7日分 ¥ 1.00 15日分 ¥ 2.00 23日分 ¥ 3.00 40日分 ¥ 5.00 85日分 ¥ 10.00